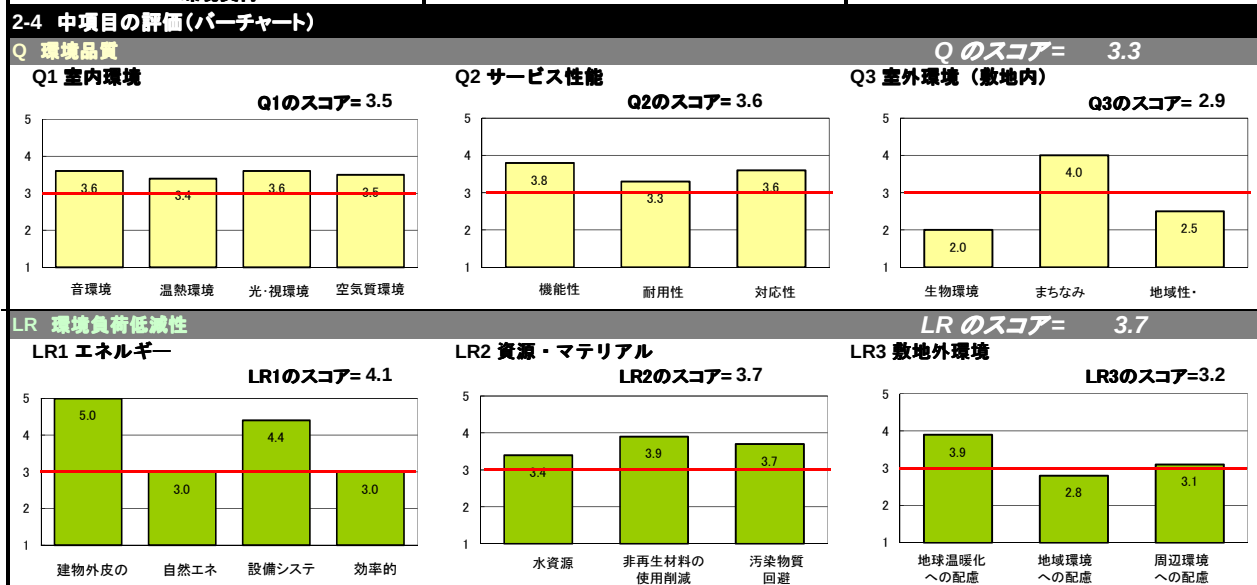
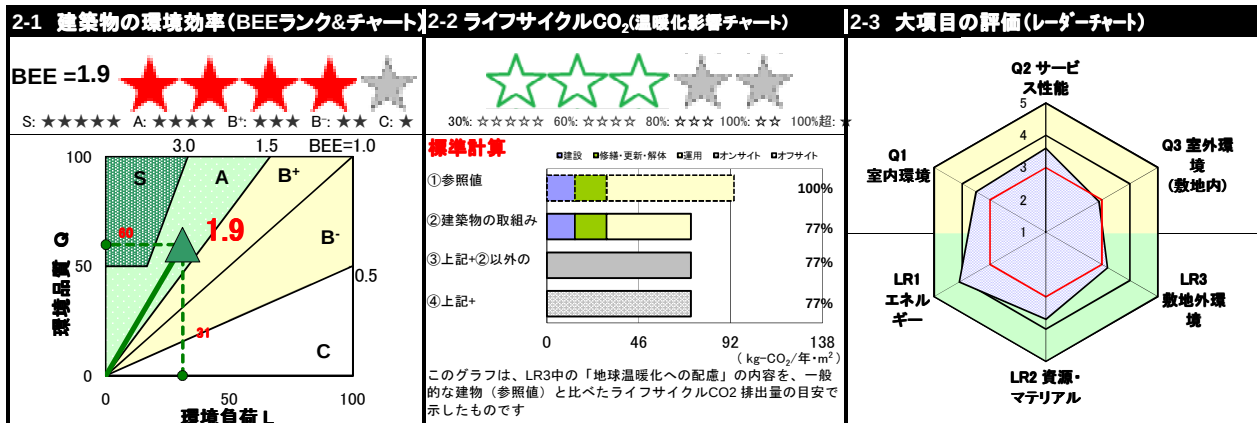


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)神姫バスオフィスビル新築工	階数	地上7F、地下0F
建設地	兵庫県姫路市北条口1丁目17, 18, 2	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	220 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2024年9月12日
敷地面積	794 m ²	作成者	広瀬 良太
建築面積	540 m ²	確認日	2024年9月17日
延床面積	3,406 m ²	確認者	前垣 篤志



3 設計上の配慮事項	
総合 兵庫県姫路市に建設されるオフィスビルの計画である。照度・照明制御、リフレッシュスペースの確保等により、執務環境に配慮しつつ、高効率設備の採用や節水器具等の採用で、省エネ・省資源に配慮した計画としている。	その他 特になし。
Q1 室内環境 照度は、全館照明方式で、500 lx ≤ 照度1000 lx とし、照明制御は1作業単位で制御できるなど、作業環境に配慮している。また、換気量は建築基準法の1.4倍以上を確保するなど、空気質環境の向上にも配慮している。	Q2 サービス性能 余裕のある天井高さやリフレッシュスペースにて執務環境向上に配慮している。また、更新間隔の長い仕上材や配管材等を採用し、耐用性向上に配慮している。
LR1 エネルギー 高効率な設備システムを導入し、省エネルギーに配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用やリサイクル材の積極的な採用で資源の保護に配慮している。
	Q3 室外環境(敷地内) 設備置場には目隠し壁を設置し、外観パースを作成して景観検証を行う等、まちなみに配慮している。
	LR3 敷地外環境 燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される